

三重県木曾岬町	●活動名	●関係する学校名
	木曾岬町学校支援地域本部	木曾岬町立木曾岬中学校 木曾岬町立木曾岬小学校

協働活動開始年度	平成 28 年度	学校運営協議会	指定・設置日	地域学校協働本部	有
			平成28年4月1日指定		
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	—		
	地域未来塾	放課後子供教室			
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	2人		14人		
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無	ICT機器活用	有
	24人				
参考URL	二				
●連絡先	木曾岬町教育委員会	☎ 0567-68-1617			



●活動の概要・経緯
木曾岬町では、平成28年度より学校運営協議会制度を導入し、これまでの「開かれた園・学校づくり」から一歩踏み出し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある園・学校づくり」の一環として、3つの事業を中心に取組を進めている。中学生対象の木曾岬子ども未来塾は、平成30年に青少年育成町民会議の家庭教育部会が、金曜日の夜間に図書館の学習室を利用して地元有志の方に講師をお願いし、中学生の学習支援に取り組んだことから始まった。現在は、運営委員会を立ち上げ、「現代の寺子屋」として活動している。小学生対象の土曜チャレンジスクール事業とホリデー教室は、平成19年の学校週5日制の導入により始まった。土曜チャレンジスクールは学校の教室を利用して学習支援を行い、ホリデー教室は休日の子どものための居場所づくりとして、社会教育指導員を講師に迎え、工作や料理などの様々なメニューを実施し、人気を博している。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ・木曾岬子ども未来塾学習支援：金曜日の夜に町立図書館の学習室で中学生対象の学習支援を行う取組
 - ・木曾岬子ども未来塾体験活動：自然体験活動のプログラムを編成し、小・中学生や園児の多様な学びの場を提供する取組
 - ・土曜チャレンジスクール・夏季学習会：土曜日や夏季休業中に、学校の教室を利用して小学生の学習支援を行う取組
 - ・ホリデー教室：休日の子どもたちの居場所づくりの一環として、年間20回程度地域における体験活動の機会の提供を行う取組
- ※木曾岬子ども未来塾では運営委員会を実施し、事業の成果や課題の確認と意見交換を行う。

【実施に当たっての工夫】

子ども未来塾の学習支援では、自学に加え、英検チャレンジ事業として資格取得に向けた支援をしている。夏季休業中には町ALTを活用したオールイングリッシュの「英語力ブラッシュアップ講座」も実施している。子ども未来塾の体験活動では、「稲作体験」「巨大かぼちゃづくり体験」が小学校の学習として位置づけられている。また、中学生以下を対象に「きそさき星空観察会」を実施している。

【関係機関・団体等との連携状況】

子ども未来塾では、地域の有志の方を学習支援者として学習支援を行っている。また、地域の農家の方などに体験活動指導員として協力いただきながら体験活動を行っている。土曜チャレンジスクールでは、地域指導者や大学生を学習支援者とし、保護者に採点ボランティアを依頼している。ホリデー教室は、文化協会主催の秋の文化祭で、子どもの体験教室コーナーを実施している。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

木曾岬子ども未来塾の学習支援では、中学校の定期テスト前には参加者が増え、学習意識の向上につながった。また、英検チャレンジ事業や「英語力ブラッシュアップ講座」も参加した生徒からは満足したという声がたくさん挙がった。体験活動では、小学校の稲作体験と巨大かぼちゃづくり体験や星空観察会において、プログラムに見合った地域人材や元教員を招聘し、豊かな体験活動につながることができた。土曜チャレンジスクールや夏季学習会では、地域人材を活用し、既習事項の復習を中心とした学習を通して基礎基本の定着を図ることができた。ホリデー教室では、工作教室や料理教室など、子どもたちの関心のあるプログラムを実施し、大変好評であった。

● その他

今後は、土曜チャレンジスクール事業や木曾岬子ども未来塾でタブレット端末を活用した学習を展開していくことも計画之中である。



木曾岬子ども未来塾体験活動
きそさき星空観察会



木曾岬子ども未来塾体験活動
木曾岬子ども未来塾稲作体験